



岳下っ子だより

冬の足音・・・

学校の桜の木は、すっかり葉を落としました。その日によって寒暖差はありますが、朝の寒さが身にこたえるようになりました。しかし、「子どもは風の子」。登校してくる子どもたちの明るい表情に、いつも元気をもらっています。



2学期も残すところあと1ヶ月。月日の経つのは早いものです。子どもたちは、2学期のまとめの学習に取り組むとともに、4月から始まる次の学年についても意識するようになってきました。特に6年生は、残された小学校生活をどのように締めくくるか考えています。

未来を切り開いていく子どもたち。変化の激しい世の中ではありますが、未来に大きな希望をもち、自ら動き出すことで、未来につながる力を着実に積み上げていってほしいと思います。

岳下小学校の新しい歴史として 得るものがいっぱいの行事となりました

～ 岳下小オリエンテーリング ～

11月18日（金）、岳下小オリエンテーリングを開催しました。

- 地域を知り、地域に愛着をもつこと
- 縦割り班で相談し、協力しながら活動すること
- 縦割り班活動を通して、自己肯定感や協調性を養うこと
- 一人一人が主体性と協調性を十分に発揮し、思う存分活動を楽しむこと

が主なねらいです。

子どもたちは、清掃班の班長を中心に、「どこで何をするか」、「どんなコースで行くか」を話し合い、タブレットを使っておおよその時間を見積もるなどして準備を進めてきました。



当日は、たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご協力いただき、教職員とともに各班に付き、

子どもたちを見守っていただきました。真っ青に晴れ渡った快晴の中、子どもたちは、約2時間かけて市内を元気いっぱい歩きました。そして、様々な発見をするとともに、班の仲間と一緒に活動できた喜びや出会った人々の温かさを実感し、「疲れたけど楽しかった」と満足感と達成感を抱いて戻ってきました。

岳下小オリエンテーリングは、今年度から始まった試みです。「来年度に創立150周年を迎えるにあたり、もっともっと地域に目を向けさせたい」という思いのもとに計画しました。教職員だけでは実現できない内容でしたが、多くの方々のご協力により、第一歩を踏み出すことができました。

出発式を終えて、いよいよ出発。班ごとに列を作って歩き出します。班長の手をしっかりと握って歩く1年生。班長への信頼感が伝わってきます。



城報館では、館内を見学した後に、

みんなで「菊松くん」のぬり絵をしました。色鉛筆をみんなで見、お互いに上手なところ



を褒め合ったりして、穏やかな時間が流れました。



図書館では、好きな本を選んで読みました。学年の枠を超え、面白い本を紹介し合ったり、絵本を一緒に読んだり、交流が深まりました。

二本松神社では、お清めをする水盤が菊の花の「花手水」になっていました。「きれいだね」とみんなうっとり。



「次は、どこに行くの?」「時間は大丈夫?」「この道でいいんだよね」と、場所と時間を確認します。道に迷いそうになっても、ボランティアの方のアドバイスがあるから安心です。

コースの最後に若宮公園を計画していた班が多く、岳下小学校の子どもたちもたくさん集まりました。遊具で遊んだり、鬼ごっこをしたり、木に登ったり…。ここでも、下級生を気遣う上級生の姿がたくさん見られました。



帰校した子どもたちは、班ごとにカードを使って振り返りました。また、週末の宿題として日記に記した学年もあります。

わずか2時間程度のふれあいでしたが、子どもたちが得たものは大変多く、私たち教職員の予想以上のものがありました。本当にうれしいことです。

3年生と6年生が書いた「振り返り」を右に示しましたのでご覧ください。

学校経営の柱を「自ら動き出す子どもの育成」として教育活動に当たっていますが、「自ら動き出す」ためには、「自らの考えをもち、伝え合い、判断し、行動する」場の充実が不可欠です。皆様のご協力があるからこそ、それを実践する「体験的な学習の場」を設けられるのだと、ただただ感謝するばかりです。今後ともよろしくお願いします。

岳下小オリエンテーリングを振り返って 【3年生のカードから】

- みんなで力を合わせてやるのはいいことで、決めたことをやるのは気持ちいいんだなと思いました。それに、下の子のめんどうを見ていたはんちよう・ふくはんちようにおれいを言いたいです。
- せいそうはんのみんなで相談はしていないけれど、ぼく以外のもので楽しい場所をきめてくれて、本当にありがたいです。じょうほう館も、男女共生センターも楽しかったし、すごかったし、おもしろかったです。
- おそうじのはんの人と少しだけなかがよくなったけれど、オリエンテーリングでもっとなかよくなったので、とてもうれしかったです。ほかにもたくさんいいところがあるんだなと知れてよかったです。
- あまり行ったことのないじょうほう館に行ったら、じょうほう館の方々がいろいろなことを教えてくださって、いきさをしていたころのことがいろいろ分かったのうれしかったです。
- ぼくが学んだことは、「学年かんけいなくなよくなる」だと思いました。明るいせいそうじのはんでオリエンテーリングをして、それを学びました。そして、次やる時は、ちがうはんといっしょに、楽しく、みんなで、なかよくオリエンテーリングを試みたいです。

【6年生の日記から】(抜粋)

- 私は、前日に通る道を確認して、なるべくスムーズに行けるようにしました。(中略)当日は、ボランティアのお母さんがとても優しく接して下さって、気楽に行けました。(中略)1年生も、最後には笑顔で「楽しかった」と言ってくれて、一から計画を立てて実行したかいがあったと思いました。
- 改めて二本松は魅力がたくさんあるなと感じました。オリエンテーリングをして、たくさんの人と関わり、そして学びました。また、違う学年の人とも仲を深められたと思います。6年生にとっては、岳下小最初で最後のオリエンテーリングでしたが、とてもよい思い出がつくれたと思います。
- 低学年にとって、初めて行くところだったのですが、「楽しかった」と言っていたのでよかったです。また、班のみんなとの交流を深められたので、これからもこの班のみんなと掃除を頑張りたいです。そして、改めて二本松の歴史のある場所に行くと、本当に二本松はたくさん歴史があってすごいなあと感じました。これからも歴史を学んで、受け継いでいきたいと思いました。
- (二本松神社の)階段を降りると、1年生がドングリを拾っていたので、楽しく過ごせたと思います。(中略)(図書館で)ぼくも本を読みながら班の人を見守っていました。みんな楽しそうに本を読んでいたのでよかったです。(中略)岳下小で初めてだったオリエンテーリング。班長として班の人をまとめられたし、とても楽しい思い出ができたのでよかったです。